



第1850回 例会

2012-13年度RI会長: 田中 作次  
 第2640地区ガバナー: 北中 登一  
 創立: 昭和49年5月15日  
 会長: 橋本隆  
 幹事: 吉本正美  
 会報: 前田吉彦



VOL. 39 No. 8

2012年 9月 5日 (水)

事務所: 田辺市下屋敷町81-10  
 きのくに信用金庫田辺支店3F  
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008  
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp  
 例会: 毎週水曜日 12:30~

**司会者** 橋本 隆 会長

**唱歌**

”日も風も星も”

野村 憲司 君



**ゲスト**

社会保険 紀南病院 臨床検査技師 石水 (いしみず) 弘子様、村上きみえ様、岡本ももゑ様

**出席報告**

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
51名	4名	6名	87.23%
8月22日修正出席率 100%			

**ニコニコ箱**

(敬称略)

- ◇社会保険 紀南病院 臨床検査技師 石水弘子様、村上きみえ様、岡本ももゑ様をお迎えして  
 藍畑、福留、橋本、平野、片井、木村、小山、前田、丸山、森本、中川、中西、野村、岡本、佐田、坂本、武田、竹村、上原、宇都、渡口、山本、吉田、吉本
- ◇石井君、いらっしゃい！入会おめでとう！！  
 愛須、谷中
- ◇末長くお世話になります。 石井
- ◇歓迎会、ご利用ありがとうございました。 杉若
- ◇米山委員会より～寄付を宜しく願います～  
 玉置
- ◇本人誕生日 畑地
- ◇奥様誕生日 “いつもありがとうございます” 藍畑
- ◇結婚記念日 渡口
- ◇お花頂きます。 畔田
- ◇先週の卓話ゲスト 熊野本宮川湯温泉 富士屋女将 小淵 祥子 様から 卓話謝礼を頂きました。

- 9月1日(土)、クラブ米山記念奨学委員長会議が泉大津市で開催されました。米山記念奨学委員長の玉置和男君 と、米山記念奨学会 学友小委員長の坂本正人君が、出席して下さいました。玉置君、坂本君、ご苦労様でした。
- 本日、例会終了後に定例理事会を開催致します。理事・役員の方はお残りください。

**幹事報告**

- メイクアップ  
 ◎9月1日(土)クラブ米山記念奨学委員長会議  
 玉置 和男君、 坂本 正人君
- 回覧  
 ◎「JCニュース8月号」  
 ガバナー事務所より  
 ◎ロータリー囲碁同好会より  
 「第11回ロータリー全国囲碁大会」のご案内  
 ◎ (財)比国育英会バギオ基金より  
 「バギオだより第32号」  
 ◎「インターアクトクラブ国際交流親睦会のご案内」  
 ◎「R財団寄付一覧表7月度」  
 ◎「英語版ロータリアン9月号」  
 ◎「ガバナー月信9月号」  
 ◎「『ロータリーの友』地区だより9月号」  
 ◎「地区大会のご案内 (10月28日)」参加申し込み表を回覧いたします。多数の参加をお願いいたします。

**会長報告**

■本日のお客様は、社会保険 紀南病院の臨床検査技師 石水弘子様と、村上きみよ様、岡本ももゑ様をお迎えしています。このお三方は「ピンクリボン紀南」というボランティア団体で活動されています。後ほど、宜しくお願ひ致します。

## 委員会報告

◎米山奨学委員会  
玉置 和男 君



- ①「米山奨学委員会」の名称変更  
「米山記念奨学委員会」に替わりました。
- ② 9月20日(木) 18:00～  
ガーデンホテルハナヨにて 米山奨学生14～5名  
を招き、バーベキューをします。

## 新入会員の紹介



石井 達 君



本日より末長くよろしくお願ひします。

## 本日のプログラム



社会保険 紀南病院 臨床検査技師

石水弘子様、村上きみえ様、岡本ももゑ様

ピンクリボン運動は1980年代にアメリカで、家族を乳がんで亡くした方の「乳がんで命を落とさないように、早くがんを見つけましょう」という呼びかけから始まり、世界中に広まりました。日本では2000年頃から東京タワー、レインボーブリッジなどのピンクライトアップ等が全国に広まりました。活動団体はそれぞれ個別独立の団体ですが、全国大会(日本対がん協会主催)が開催され、互いの活動状況や資金の集め方、乳がん検診受診、早期発見に繋ぐにはどのようにしたら良いかなどを話し合っています。和歌山県は2010年のがん死亡率が全国で4番目と

多い県です。検診受診率は国の目標50%に対し10-20%台と低く、乳癌死亡率が高いにもかかわらず、ピンクリボン運動を知らない人が多いのが現実です。ピンクリボン紀南は「この状況を何とかしたい。」と田辺市市民活動センター登録のボランティア団体として2010年より活動を始めました。活動目的は女性およびその家族と周囲の人達の笑顔を守ることです。建造物ピンクライトアップ、講演会、乳房模型触診のブース出展により「バースデーマンモ(毎年、誕生日に乳がん検診を受ける)」の推進、乳がんの理解を深めてもらうなどの活動を行っています。

乳がんは女性に一番多い癌です。日本人の16人に1人が罹患すると言われ、40～50歳代をピークに発症や死亡者数が増加します。男性も乳がんを発症しますが、女性の100分の1ほどです。乳がんは主に乳房にしこりを作る病気です。しこりがなくても乳頭から血液が出てくる場合もあります。治療は乳房を全部、又は部分的にとる手術、放射線、薬の治療など癌の状態により異なります。乳がんは早く発見すると90%以上が治る病気です。60～80%の女性が検診を受ける米国や英国では、発症者数が増えているにもかかわらず死亡者数は減少傾向に転じています。忙しい生活の中でも自身の健康の為に、誕生日に自分へのプレゼントとして検診を受けて欲しいのです。検診に行くには、男性や周囲の方の一言が大きく背中を押してくれます。「はじめよう、乳がん検診、のりこえよう、乳がん。いっしょに笑顔で、今から、ここから」。  
(ピンクリボン紀南の合言葉)

この活動は皆様のご協賛により実現させて頂いております。諸事多難な折、誠に恐縮ですが、本会の趣旨にご理解を頂き、ご支援を賜りたく宜しくお願ひ申し上げます。

<http://www.geocities.jp/pinkribbonkinan/>  
(「ピンクリボン 紀南」で検索)

## 活動履歴

- 2010年：熊野本宮大社大斎原の大鳥居のピンクライトアップ  
女優・音無美紀子さんと筑波大学臨床教授の植野映医師の講演会
- 2011年：ライトアップは台風12号豪雨災害で中止  
俳優・小西博之さんと立花病院副院長の藤本泰久医師の講演会  
情報交流センターBigUに変更
- 2012年：10月7日  
熊野本宮大社大斎原の大鳥居のピンクライトアップ、熊野道散策  
講演会 読売新聞記者乳がん体験者 本田麻由美様  
和歌山医科大学第一外科講師 粉川庸三医師